

パラスポーツボランティアに参加しました

中国支部事務局



完成したマリーナセンター

2つのパラスポーツ大会が広島で開催されボランティアに参加しました。

「2022ハンザクラスアジアパシフィックチャンピオンシップ&パラワールドセーリングチャンピオンシップハンザクラス広島」が2022.10.20~23に広島で開催されハンザクラスの世界大会は4年ぶりの開催でした。

ハンザクラスアジアパシフィックチャンピオンシップは障がい者と健常者とがハンディなく競う大会でパラワールドセーリングチャンピオンシップハンザクラスは障がい者の

アスリート同士が競う大会です。

事前にボランティア参加予定者が広島観音マリーナにて講習を受けました。ボランティア活動内容を午前中に受け午後からは障がい者役と健常者役に別れ体験をしました。障がい者役は目隠しをし健常者役がマリーナ内を歩いて視覚障がい者役をサポートする体験をしました。ボランティア本番ではこのような場面はありませんでした。大会当日は会場の案内やレース終了後は選手たちのヨットを棧橋からヨット置き場まで引き上げるなどの支援を行いました。



ヨットに乗り込む選手たち

ごみ箱のまえで悩んでいる外国人がいました。声をかけるとプラスチックはどのかごに入れればいいのかと考えていたのです。日本語の文字は大きく「プラスチック」と表記されていましたが「Plastic」の文字が小さいために分かりづらかったようです。日本人の立場から見れば普通のこと相手が相手からは分からないということです。相手の立場に寄り添うことが必要だと考えさせられる場面でした。

2022.11.4~6では「第8回スペシャルオリンピックス日本 夏季ナショナルゲーム・広島」が開催されました。スペシャルオリンピックスとは、知的障害のある方々の自立と社会参加を目指し、日常的なスポーツプログラムとその成果の発表の場である競技会を提供するボランティア活動です。この大会は2023年にドイツで開催される世界大会の選考会となります。私は広島広域公園テニスコート会場でのボランティアを担当しました。3日間のボランティア活動でアスリート(選手のことをアスリートと呼びます)とのふれあいが特に印象的でした。表彰後退出するアスリートにメダルを見せてもらうととても誇らしげに嬉しそうに見せてくれました。このように選手たちとのかかわりはもちろんのこと、三井V-Net会員以外のボランティア同士との繋がりも楽しみのひとつです。車での帰り道、暗くなった広島高速4号線では、まさに映画「ドライブ・マイ・カー」のシーンが目の前に再現され心躍る瞬間でした。いろいろと楽しめたボランティア活動となりました。



5000メートル競走を走るアスリートたち(となりの競技場にて)



熱戦を展開中の男子テニスシングルス



三井V-Net会員以外とのコミュニケーション



アスリートたちのお出迎え